

第17回聖光会学会

『令和新時代の地域連携を考える』



令和2年2月29日（土）

会場：ラフレさいたま

主催：聖光会グループ

－目 次－

開催概要	1
学会長挨拶	2
理事長挨拶	3
参加者へのご案内	4
座長・発表者へのご案内	5
会場周辺図・交通のご案内	6
会場内案内図	7
演題プログラム	
特別講演	8
口述セッション 1・2	9
口述セッション 3・4	10
ポスターセッション 5・6	11
ポスターセッション 7・8	12
演題抄録	13

－第17回聖光会学会開催概要－

日 時	令和2年2月29日（土） 14：00～	
会 場	ラフレさいたま さいたま市中央区新都心3－2 TEL 048－600－5500 URL http://www.rafre.co.jp/	
学 会 長	医療法人光仁会 春日部厚生病院 院長 高柳 寛	
テ ー マ	『令和新時代の地域連携を考える』	
開 会 式	14：00～	櫻ホール（3階）
特別講演	17：30～	櫻ホール（3階） 田中 滋先生（公立大学法人 埼玉県立大学理事長） 「地域包括ケアシステム：これまでの振り返り、これからを創造する」
閉 会 式	18：30～	櫻ホール（3階）
懇 親 会	閉会式終了後	櫓 の 間（4階）
主 催	聖光会グループ 医療法人 聖仁会 医療法人 光仁会	
幹 事	春日部厚生病院	
事 務 局	春日部厚生病院 〒344－0063 埼玉県春日部市緑町6－11－48 電話 048－736－1155（代表） FAX 048－736－2818 URL https://www.skmg.jp/kasukabe-kosei/ 準備委員長 城 真介	

－学会長挨拶－

令和 2 年 2 月 29 日に、年号が平成から改まって最初の聖光会学会が、春日部厚生病院主催で開催されます。テーマは「令和新時代の地域連携を考える」です。多数の演題を各施設から頂きましたことを深く感謝申し上げます。

令和新時代がどのような時代になるのか、不確定な要因が多い中で年明け早々から、中東では不穏な情勢が勃発し、国際情勢の先行きには予断を許さないものがあります。今秋には米国の大統領選挙も控えていますが、夏には東京ではオリンピックの開催が予定されています。国内では少子高齢化が進行し、医療の分野でも医療費の増加が問題となり、診療報酬の改定や介護保険の内容についても厳しい論議がなされています。若い世代が今後どれだけの負担にたえられるかは、我が国の今後 100 年の大きな課題となるでしょう。

今回の学会のテーマで、地域連携が取り上げられたことは、春日部市における当院や南部厚生病院、春日部厚生クリニックや在宅部門さらには、西部総合病院の役割を考えるうえで極めて重要な点であると思われます。地域包括ケアシステム推進センターも、発足後 5 年を迎え、地域との連携を深めています。私は初代センター長を拝命し、多くの会合に出席し多職種の連携を深めることができましたが、後任を春日部厚生クリニック田中院長に引き継いで頂き、南本副センター長のご尽力も得て順調に成果をあげていることは大きな誇りでもあります。また、昨年 12 月に春日部市医師会山崎会長から当院の診療実績に対する感謝状をいただいています。

特別講演にお招きいたしました埼玉県立大学田中滋理事長は、地域医療や病院経営を専門とする日本を代表するオピニオンリーダーです。ご講演の内容も学会のテーマに沿って、実り豊かなものとなるものと期待しています。

この会が聖光会グループの皆様の良き学習と交流の場となることを祈ります。

第 17 回聖光会学会学会長
春日部厚生病院
院長 高柳 寛

－理事長挨拶－

第17回聖光会学会を迎えるにあたり一言ご挨拶を申し上げます。

人生100年時代が現実味を帯びてきました。定年退職後は余生を過ごし、若者が高齢者を支えるのが世の常でありましたが、これからは学び働く意欲・体力があれば何歳になっても就学や就労が可能となる世の中になっていくそうです。社会保障の支え手においても、若者だけでなく一定以上の所得のある高齢者には負担を強いる全世代型社会保障制度の構築が求められており、公平性を保つうえで受益者負担を鮮明にすることは意義深いことです。人生100年時代では個々のライフスタイルが多様化し、それに応じて様々な社会インフラが見直されます。

医療や介護も例外ではなく、既成概念を脱する努力が不可欠となります。今年のグループスローガンである「人生100年時代、我らの役割を考える」は、このようなことで掲げさせていただきました。今学会でもそれに相応しい多くの演題が発表されることでしょう。

最後に高柳学会長をはじめ、準備に奔走いただいた春日部厚生病院の皆様にお礼を申し上げ、学び多い有意義な会となることを祈念し挨拶とさせていただきます。

聖光会グループ 医療法人聖仁会
医療法人光仁会
理事長 西村 直久

－参加者へのご案内－

○受付場所 3階総合受付

事業所ごとに窓口を設けておりますので、各自名簿へ記入をお願い致します。
 なお、座長・発表者の方は別に手続きがございますのでお申し出下さい。
 ※抄録は事前配布のため当日のご用意はありません。予めご了承下さい。

○受付時間 座 長 ・ 演 者 1 3 : 0 0 ～
 一 般 参 加 1 3 : 3 0 ～

○開始時間 開 会 式 1 4 : 0 0 ～ 櫻ホール（3階）
 口 述 発 表 1 4 : 1 5 ～ 櫻ホール（3階）
 ポスター発表 1 4 : 1 5 ～ 櫓の間 （4階）
 特 別 講 演 1 7 : 3 0 ～ 櫻ホール（3階）
 閉 会 式 1 8 : 3 0 ～ 櫻ホール（3階）
 懇 親 会 1 9 : 0 0 ～ 櫓の間 （4階）

○そ の 他 ・クロークは1階フロント横にございます。
 ・携帯電話は電源をお切りいただくか、マナーモードに設定してください。
 ・お車での来場はご遠慮ください。

○タイムスケジュール

	14:00		15:00		16:00		17:00	18:00	
櫻ホール （3階）	開 会 式	14:15～ 14:50 セッション1 （口述）	14:50～15:45 セッション2 （口述）		15:45～16:30 セッション3 （口述）		16:30～17:15 セッション4 （口述）	17:30～18:30 特別講演	閉 会 式
櫓の間 （4階）		14:15～ 14:45 セッション5 （ポスター）	14:45～ 15:20 セッション6 （ポスター）	15:20～ 15:55 セッション7 （ポスター）	15:55～ 16:30 セッション8 （ポスター）	19:00～ 懇親会			

—座長・発表者へのご案内—

口 述 発表 6 分 ・ 質疑応答 2 分
ポスター 発表 4 分 ・ 質疑応答 2 分

<座長の方へ>

- ネームプレートをお渡ししますので、受付にて座長である旨お申し出下さい。
- 当日 13:10 より座長会を行います。
座長会に参加されない方は、担当セッションの開始時刻の30分前までには会場にお越し下さい。
- ご担当のセッションの進行はすべて座長に一任致します。
また、口述発表の時間の経過はタイムキーパーがお知らせ致します
- その他、ご不明な点がございましたら座長会にてお問合せ下さい。

<発表者の方へ>

- ネームプレートをお渡ししますので、受付にて演者である旨お申し出下さい。
- 発表されるセッションの開始時刻の30分前までには次演者席にお越し下さい。
- スライドのページ送りは演者ご本人にてお願い致します。
- 学会当日のスライドの差し替えはご遠慮下さい。
- 口述発表時は、5分でベルを1回、6分でベルを2回鳴らします。
時間厳守でお願いいたします。
- 演題・施設・演者名は座長よりご紹介いたしますので、省略して発表を開始して下さい。

—会場周辺図・交通のご案内—

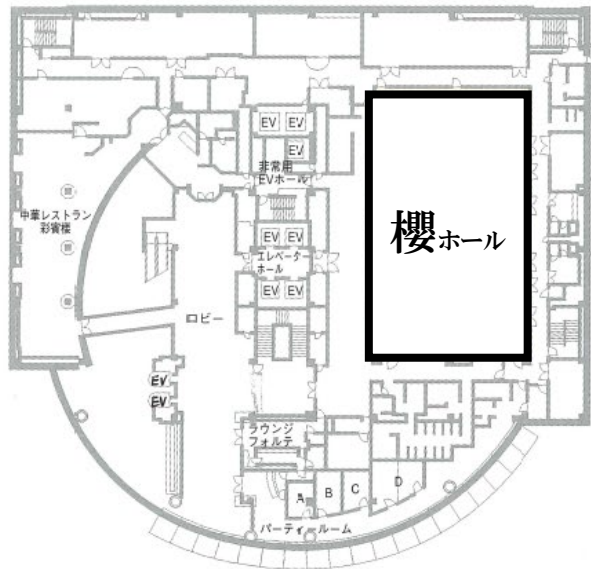
最寄り駅：「さいたま新都心」駅

J R 京浜東北線 ・ 宇都宮線 ・ 高崎線「さいたま新都心」駅下車 徒歩約7分。

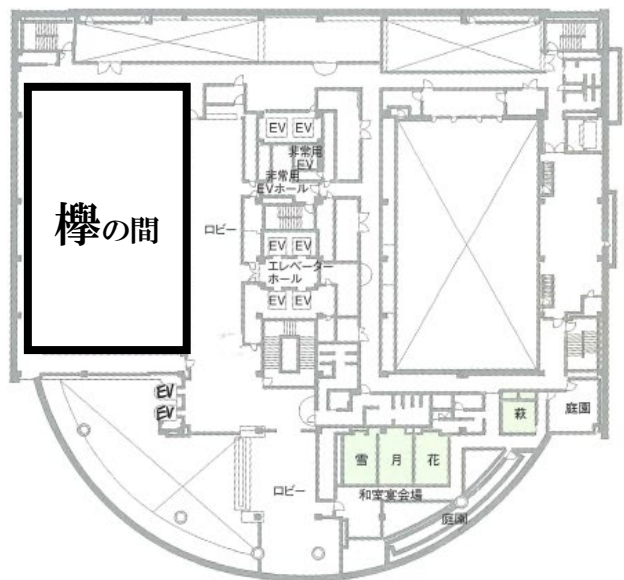
J R 埼京線（各駅停車利用）「北与野」駅下車徒歩約10分。



—会場内案内図—



3 階



4 階

－第17回聖光会学会プログラム－

－特別講演－

公立大学法人埼玉県立大学理事長・慶應義塾大学名誉教授

田 中 滋 先生

「地域包括ケアシステム：これまでを振り返り、これからを創造する」

座長 聖光会グループ理事長 西村 直久

会場 3階 櫻ホール（17：30～18：30）

ご略歴

公立大学法人埼玉県立大学理事長(2018年4月～)・慶應義塾大学名誉教授(2014年4月～)

【専門】

地域包括ケアシステム論、医療・介護政策、医療・介護経営、医療経済学

1971年慶應義塾大学商学部卒、同大学助手・助教授を経て1993年より慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授。2014年定年退職後は同研究科に設けられたヘルスケアマネジメント・イノベーション寄附講座をベースに研究・教育に従事

【学会】

日本地域包括ケア学会理事長、日本介護経営学会会長、アジア太平洋ヘルスサポート学会理事長、日本ケアマネジメント学会理事、医療経済学会理事

【現在の主な公職】

社会保障審議会委員（介護給付費分科会長・福祉部会長・医療部会長代理）、医療介護総合確保促進会議座長、協会けんぽ運営委員長

口述セッション 1 14:15～14:50 会場 櫻ホール（3階）
座長：春日部厚生病院 院長 高柳寛

- 1-1 大腸癌イレウスの治療戦略 消化器外科今昔
西部総合病院 外科 村上博史…………… 13
- 1-2 チーム医療で取り組む褥瘡の加療 より良い褥瘡の改善を目指して
西部総合病院 皮膚科 野中由紀子…………… 14
- 1-3 当院における高齢者糖尿病の血糖コントロールの現状について
春日部厚生病院 内科 藤田実佳…………… 15
- 1-4 糖尿病教育入院クリニカルパスの臨床的意義 ー当院におけるパス導入の試みー
西部総合病院 糖尿病内分泌内科 犬飼敏彦…………… 16

口述セッション 2 14:50～15:45 会場 櫻ホール（3階）
座長：南部厚生病院 リハビリテーション科 小林徳久

- 2-1 リハビリリンクとともに ～施設の垣根を越えて繋がる法人の輪～
春日部厚生病院 リハビリテーション部 中川望…………… 17
- 2-2 当院における骨粗鬆症診療の実態を把握する
西部総合病院 リハビリテーション部 仙石恵美…………… 18
- 2-3 TKA 術後患者に対する急性期における超音波療法の効果
～超音波照射群・非照射群の比較検討について～
西部総合病院 リハビリテーション部 鬼本一平…………… 19
- 2-4 大腿骨骨折術後に免荷式歩行器を導入した即時的・長期的な効果
西部総合病院 リハビリテーション部 三浦正英…………… 20
- 2-5 回復期リハビリテーション病棟におけるオムツ交換の退院指導手順書の作成
春日部厚生病院 看護部 3階西病棟 奥原孝太…………… 21
- 2-6 回復期リハビリテーション病棟における認知症患者への個別性に合わせた
レクリエーションを導入して
西部総合病院 看護部 2階東病棟 若生智亜樹…………… 22

口述セッション 3 15:45～16:30 会場 櫻ホール（3階）

座長：西部総合病院 看護部 白井奈美

- 3-1 外来の中途採用者の自己評価と看護実践能力及びキャリア形成の支援
西部総合病院 看護部 外来 佐藤由佳利…………… 23
- 3-2 全身状態悪化の為、骨折の手術ができなかった患者の看護
南部厚生病院 看護部 2階病棟 棚島麻里…………… 24
- 3-3 意思伝達困難患者へのコミュニケーション方法
～フィンガーボード・グローブでのアプローチを通して～
春日部厚生病院 看護部 3階東病棟 伊藤和美…………… 25
- 3-4 全職員を対象とした速乾性手指消毒剤の使用量増加の取り組み
アウトブレイク阻止を目指して
南部厚生病院 検査科・院内感染防止対策委員会 堀越文子…………… 26
- 3-5 当院の感染対策委員会の新しい取り組み ～JANISに参加して～
西部総合病院 感染対策委員会 川畑真理子…………… 27

口述セッション 4 16:30～17:15 会場 櫻ホール（3階）

座長：春日部厚生病院 看護部 内田美喜子

- 4-1 若年者への退院支援
西部総合病院 患者サポートセンター 医療社会福祉課 栗原一美…………… 28
- 4-2 入退院を繰り返す患者の実態調査と退院支援における今後の対策
西部総合病院 看護部 3階西病棟 浅子喜江…………… 29
- 4-3 地域包括ケア病棟から施設退院後のケアの継続性の検証
看護サマリーの改善を試みて
西部総合病院 看護部 3階南病棟 湯本舞…………… 30
- 4-4 「生」を生きる場所の選択
南部厚生病院 看護部 緩和ケア病棟 梅田有紀…………… 31
- 4-5 今求められる緩和ケア病棟の役割とは 「生きたい」を支えるケア
南部厚生病院 看護部 緩和ケア病棟 横尾頼子…………… 32

ポスターセッション 5 14:15～14:45 会場 櫓の間（4階）

座長：春日部厚生クリニック 地域医療連携室 小川眞由美

5-1 上部内視鏡検査受診に関する調査

春日部厚生病院 看護部 外来 小諸恵美…………… 33

5-2 手指消毒に対する意識調査 ～意識向上のためのアプローチ～

春日部厚生病院 看護部 2階東病棟 小林祐子…………… 34

5-3 環境の整った入院生活の提供とスタッフの意識向上 床頭台の整理整頓を通して

西部総合病院 看護部 3階西病棟 中村祐美…………… 35

5-4 病棟内の整理整頓に焦点を当てて ～5 S活動を通じた取り組み～

春日部厚生病院 看護部 2階西病棟 藤田素乃子…………… 36

ポスターセッション 6 14:45～15:20 会場 櫓の間（4階）

座長：西部総合病院 リハビリテーション部 土屋喜隆

6-1 男性患者のオムツのあて方を見直す取り組み ～基本のあて方を行ってみて～

南部厚生病院 看護部 2階病棟 山下祐太…………… 37

6-2 抑制によるスタッフへの意識改革

春日部厚生病院 看護部 2階西病棟 木下勝美…………… 38

6-3 足趾機能について 足は最高の芸術作品

南部厚生病院 リハビリテーション科 瀬川文寛…………… 39

6-4 当院リハ職員の患者接遇の現状

～アンケート調査によるリハ職員の自己評価と患者評価を比較して～

春日部厚生病院 リハビリテーション部 齋藤颯汰…………… 40

6-5 休日介入量増加が回復期病棟整形外科患者のFIM 帰結に与える影響

春日部厚生病院 リハビリテーション部 栗嶋佑輔…………… 41

ポスターセッション 7 15:20～15:55 会場 櫓の間（4階）

座長：居宅介護支援事業所ひまわり 飯島早苗

7-1 個性を意識した看護・介護を提供する取り組み

意思疎通のできない患者の健康な頃を知ろう

南部厚生病院 看護部 3階病棟 阿部美樹…………… 42

7-2 当院訪問リハビリでの取り組み報告①

～Enjoy Life 少しでも長く在宅生活を送るために～

西部総合病院 リハビリテーション部 近森貴裕…………… 43

7-3 当院訪問リハビリでの取り組み報告②

～MTDLP を用いて介入し趣味活動を再開した事例～

西部総合病院 リハビリテーション部 近森貴裕…………… 44

7-4 日中独居となる脳血管疾患患者に対する退院支援の検討

春日部厚生病院 リハビリテーション部 関根博貴…………… 45

7-5 ターミナルケアマネジメントの事例報告

西部在宅ケアセンター 在宅介護支援センター大久保 朝見滋…………… 46

ポスターセッション 8 15:55～16:30 会場 櫓の間（4階）

座長：南部厚生病院 看護部 宇田川恵

8-1 外来診療にて随時尿から1日の塩分摂取量を算出した動向と今後の課題

南部厚生病院 栄養科 小林信子…………… 47

8-2 介護の現場におけるストレス感情のコントロール

～アンガーマネジメント術を試みて～

春日部厚生病院 看護部 2階東病棟 藤田純代…………… 48

8-3 スタッフと患者のコミュニケーションの活性化 ～回想法を試みて～

南部厚生病院 看護部 3階病棟 小倉尚…………… 49

8-4 視覚障害患者の日常生活動作向上へのアプローチ

春日部厚生病院 看護部 3階西病棟 大塚遥華…………… 50

8-5 経管栄養から経口摂取への移行に向けた取り組み

春日部厚生病院 看護部 3階東病棟 松本千代美…………… 51